

川崎市農政情報誌

～ 第 3 号 ～

# かわさきそだち

～ 『農』のあるライフスタイルをめざして～

発行 川崎市農業振興センター

〒213-0015

川崎市高津区梶ヶ谷 2 - 1 - 7

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464



## 平成19年度

# かわさき農業フォーラムを開催します！

「かわさき農業フォーラム」は、消費者、生産者、学識経験者を交え、これからの川崎の農業についてそれぞれの立場で話し合うことを目的として、平成 16 年度から開催しています。



昨年度の開催風景。「みんなで耕すかわさきの農業～農業参加とは？～」をテーマに高崎経済大学の村山先生をお招きし、消費者、生産者、市長でパネルディスカッションを行いました。

日時：平成 20 年 1 月 30 日（水）

午後 2 時～午後 4 時

場所：多摩市民館 大会議室

（多摩区総合庁舎内 3 階）

テーマ

知ってる？

見よう！食べよう！

かわさきそだち

がんばってます・・・

かわさきの農業

## 参加者募集！

参加者には  
市内産農産物（かわさきそだち）を  
プレゼント！



今年度は上記テーマを掲げ、コーディネーターに明治大学農学部竹本田持教授（かわさき「農」の新生プラン推進会議会長）をお招きし、パネラーの生産者代表、消費者代表、阿部市長や会場の皆さんとパネルディスカッションを行う予定です。多くの方の御参加をお待ちしております。

参加御希望の方は、電話又はファックス（住所・氏名を明記）にて、農業振興課（電話 860-2462・FAX860-2464）までお申し込み下さい。

ただし先着 100 名様で締め切りとさせていただきます。（12 月 25 日午前 9 時から受付）

## 第43回川崎市園芸展覧会開催！！

11月9日(金)にセレサ川崎農業協同組合本店で開催された「第43回川崎市園芸展覧会」の様子を報告いたします。会場にはだいこん、キャベツなどの野菜から、梨、柿などの果樹、ケイトウ、小菊などの切花、パンジー、シクラメンなどの鉢物まで新鮮な市内産農産物「かわさきそだち」が勢ぞろい。審査の後、一般観覧に続き、即売会が行われました。即売会は3時からでしたが、新鮮な野菜や花を求めて並ぶ人々が増え、行列の先頭に並んだ方は「1時間前から来て並んでいる」と話してくれました。即売ではお客さんがお目当ての品物に殺到。両手いっぱい品物を抱える人たちであふれかえっていました。農産物を購入された方に感想を伺ったところ、「安くて(野菜が)おいしそう」「(花を見ながら)きれいですね」との声がありました。どの方も満足そうな顔が印象的でした。



【小菊、ケイトウなど切花】



【一般観覧の様子】

### 各賞の受賞者

(敬称略)

川崎市ナシ立毛共進会～8月1日(水)

神奈川県知事賞 白井正壽

(豊水・新星)(多摩区菅稲田堤)

川崎市ブドウ立毛共進会～8月2日(木)

川崎市長賞 松澤康孝(藤稔)(多摩区南生田)

自給飼料増産共進会(デントコーン)～8月7日(火)

優秀賞 福田 努 (高津区新作)

川崎市ナシ・ブドウ品評会～8月31日(金)

ナシ部門 神奈川県知事賞 田村賢太郎

(豊水(無袋))(多摩区中野島)

ブドウ部 川崎市長賞 五蔦 位昌(藤稔)(多摩区菅)

川崎市畜産共進会 乳牛の部～9月10日(月)

金賞 箕輪健二(ホルスタイン)(麻生区細山)

川崎市畜産共進会 鶏卵の部～9月29日(土)

金賞 河原 彌兵衛(ポリスブラウン)(高津区宇奈根)

川崎市花き立毛共進会 露地切花(秋の部)～10月19日(金)

神奈川県知事賞 吉田 貴次(ドリアン・黄)(宮前区馬絹)

川崎市花き立毛共進会 パンジー・ビオラの部～10月23日(火)

川崎市長賞 内藤 浩由(中原区下小田中)

川崎市花き立毛共進会 葉ポタンの部～11月6日(火)

川崎市長賞 山田眞一郎(宮前区平)

川崎市花き立毛共進会 シクラメンの部～11月15日(木)

川崎市長賞 田中 修(中原区下小田中)

川崎市キャベツ・ブロッコリー立毛共進会～11月7日(水)

キャベツの部 川崎市長賞 持田 康夫(しんらん)(宮前区東有馬)

ブロッコリーの部 川崎市長賞 森 勝夫(すばる)(高津区久末)

川崎市園芸展覧会 園芸生産物品評会～11月9日(金)

神奈川県知事賞 森 育三(ブロッコリー)(高津区久末)

神奈川県知事賞 吉田 貴次(ドリアン・黄)(宮前区馬絹)

## イベント・募集案内

食と農のつどい2008「かながわ発地産地消のすすめ」を開催いたします。

日時 平成20年2月9日(土)午前10時～午後4時15分

会場 新百合21ビル地下2階(小田急線新百合ヶ丘駅下車徒歩2分)

内容 県内産農産物を使用した料理実演、地産地消の取組事例の発表、地域農産物の即売会等

\*詳細は12月21日号の市政だよりを御覧ください。

平成19年度ファーマーズクラブ(第2回)を開催いたします。

期日 平成20年2月23日(土)(荒天時24日(日)順延)

内容 野菜生産者宅の見学と農作業体験等

緑化センター展示会【詳細は、緑化センター(911-2177)までお問い合わせください。】

<特別企画> 春の盆栽展 平成20年1月22日(火)～2月11日(月)

緑化センター講習会【詳細は、緑化センター(911-2177)までお問い合わせください。】

平成20年2月1日(金) サクラソウの鉢作り (教材費・資料代 1,000円 応募期限 1月24日まで)

平成20年2月20日(水) 盆栽の手入れ法 (教材費・資料代 300円 応募期限 2月5日まで)

平成20年3月12日(水) 洋ランの管理方法 (教材費・資料代 300円 応募期限 2月26日まで)

# 掲 示 板

(仮称)川崎市農業技術支援センター設置に伴う条例制定等の市民意見を募集しています！

かわさき『農』の新生プラン(川崎市農業振興計画)に基づく農業経営基盤づくりの一環として農業者への農業技術支援の強化を図るとともに、市民の方々に農業に対する理解を深めていただく場を提供するため、フルーツパークと緑化センターにおける農業技術支援機能を統合・一元化し、平成20年4月に(仮称)川崎市農業技術支援センター(現フルーツパークを母体)を設置します。

また、緑化センターは、都市緑化を推進する場として、都市緑化植物園(都市公園)に特化いたします。

これに伴い条例制定等の骨子案についての市民意見を平成20年1月10日まで募集しています。

資料については、農業振興センター、フルーツパーク、緑化センター、各区役所、市のホームページ等で閲覧できます。なお、詳細については、下記までお問い合わせください。

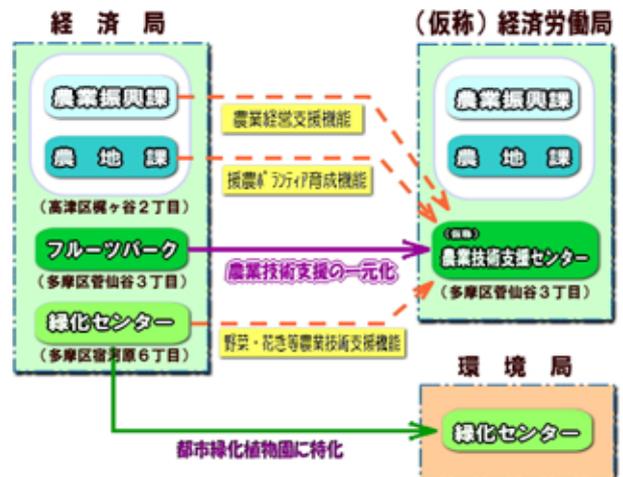
かわさき『農』の新生プラン推進会議市民委員を募集しています！

市では、かわさき『農』の新生プランの基本目標である、かわさき130万市民『農』のあるライフスタイルの実現に向けて、「かわさき『農』の新生プラン推進会議」を設置していますが、そこで農業施策を協議・検討していただく市民委員を募集しています。

募集人数：3人 任期：平成20年4月1日から平成23年3月31日の3年間

なお、詳細については、12月1日号の市政だより、または川崎市農業振興センターホームページの「かわさきの農業」をご覧ください。

【問い合わせ先 農業振興課農政係 860-2462】



# 農 業 技 術 情 報

## トマト黄化葉巻病について

トマトに新しい病気が発生しました。トマト栽培農家では、葉が黄化して葉先が巻くトマト黄化葉巻病と呼ばれる病気が発生して困っています。この病気は、タバココナジラミ(白い小さな虫)が媒介するウイルス病で、症状がでると治らずそれ以降の実も着かないため、経営的に大問題となります。

関係機関と施設トマトの栽培農家を巡回したところ、今年もこの病気が市内全域で発生していることを確認しました。

コナジラミ類は殺虫剤だけで全滅させることが難しく、温室周囲などの開閉部に、この虫が通り抜けることが困難な目合0.4mmの防虫ネットを設置することや、被害株が発生した場合は次の感染源になるため、すみやかに処分するよう指導しています。

川崎市では関係機関と協力し、トマト栽培農家だけでなく農家の方々に広くこの病気のことを周知し、病気にかかったトマトを放置しないことをお願いしています。

また、家庭菜園などでトマトを栽培する方々もこの病気を見たら、すみやかに被害株を抜き取り処分してください。



黄化葉巻病が発病したトマト

【問い合わせ先 緑化センター 911-2177】

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/28/28nogyo/home/nogyo/kawasakinonogyo.htm>  
(『かわさきの農業』で検索)

# お宅訪問!!かわさきの農家

3



今回は、宮前区馬絹で花き栽培を営んでいる田辺美裕さん、裕崇さん親子のお宅を訪問しました。訪問時に二人揃って小菊の仕分け作業を行っていました。黙々と作業を続ける二人からは静かで穏やかな空気が漂っていました。冬は枝物、夏は切花を中心に一年を通して様々な花を栽培しています。繁忙期は5月から11月までですが、それ以外の月も休むことなく花はあるそうで、これからは花桃の時期が始まると語ってくれました。

父：美裕さんは大学卒業後、就農。就農したての頃はご自身の父、おじとともに農作業を行っていました。鉄砲ゆりが中心だったのですが、次第に枝物に切替えていったそうです。

一方、息子：裕崇さんは高校卒業後、農業以外の職業を経験してきましたが、将来のことを考え父と同じ道に進むことを決意し、神奈川県立かながわ農業アカデミーに入学。専門的な知識を学び、卒業後はお父さんと二人三脚で歩んできました。

息子の裕崇さんは新しい種を試すのに積極的で、日々、花と向き合い色々研究を重ねています。そんな息子さんを温かく見守り、アドバイスを続けるお父さんの美裕さん。新しいことに挑戦することに対し、「父親から反対されたことはない」と裕崇さんは語ります。そこには息子へ全幅の信頼を寄せる父の姿がありました。市場への出荷は裕崇さんが担当していますが、馬絹に伝わる『枝折(しおり)』技術を学び、馬絹支部の勉強会にも積極的に参加するなど、市場の動向を判断し、最もよい状態で出荷することに余念がありません。

最後にそれぞれに『今後の抱負』をうかがったところ、美裕さん・裕崇さんも共に「(農場の)規模を拡大すること」と力強く語ってくれました。

小菊の仕分け作業中の田辺美裕さん(右)  
田辺裕崇さん(左)



## 直売所紹介

“かわさきそだち”売ってます。

市に直売団体として登録されている直売所を南部から順に紹介しています。今回は、宮前農産物直売所です。

この号が発行される頃は、いろいろな野菜がそろうほか、卵も販売される予定だそうです。

所在地 市立野川小学校の北側約200m

住所 宮前区野川1018

販売日 毎週火・木・日曜日

12時30分~17時頃

\*17時前に品物がなくなることあります。

連絡先 JA セレサ川崎

宮前支店

電話 044-866-4231



## かわさきそだちでクッキング

### 小松菜のナメタケ和え

#### 材 料

小松菜	一把
ちくわ	2本
ナメタケの瓶詰	小1瓶
醤油	大さじ2
戻したわかめ	60g



#### 作り方

- 1 茹でて2~3cm位に切った小松菜に醤油をからめて軽く水気を絞る。(醤油洗いという)
- 2 ちくわは縦半分に分けてから薄切りにする。戻しわかめはしっかり水気をきり2~3cmくらいに切る。
- 3 1の醤油洗いした小松菜、切ったちくわ、わかめ、ナメタケの瓶詰を混ぜ合わせて出来上がり。(小松菜の代わりに、ほうれん草でも美味しいです。)

レシピ提供：川崎市女性農業担い手の会 あかね会

## 知って得する農のことば

### 【枝折(しおり)】

枝物の荷造り技術。持ち運びが簡単で、花落ちしにくくするために枝を束ねること。花桃は昔から馬絹で栽培が盛んで、「かわさき農産物ブランド」にも登録されています。他に野菜などを束ねる技術に『まるき』『結束』があります。

「農」に関するご意見・ご感想や農のある風景(写真)等、皆様からのお便りをお待ちしております。郵送、ファックスもしくはメールにて送付してください。(〒213-0015 川崎市高津区梶ヶ谷2-1-7 JA せり梶ヶ谷ビル2階 川崎市農業振興センター ファックス 044-860-2464 Eメールアドレス 28nogyo@city.kawasaki.jp)

また、『お宅訪問!!かわさきの農家』の取材にご協力いただける方も随時、募集中です。

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/28/28nogyo/home/nogyo/kawasaki/nonogyo.htm>  
(『かわさきの農業』で検索)